

目的・ねらい

本科目はビジネス・コミュニケーション科の入学生全員を対象とし、本学の見学の精神「全人的自立」のもと、多文化共生社会に適応し社会に貢献できる人材を育成することを目的としている。卒業時に社会人として自立する上で、本学科生として必要な基礎的・基本的な力（主として社会人マナー、情報モラル）を身に付けることを中心に学ぶ。学修成果と評価については、授業への参加態度のほか、ワークシート（小テストを含む）及び振り返りシート（課題含む）を活用する。

到達目標	・ ビジネスマナーの必要性を理解できる ・ 実際にマナーを身につけることができる ・ 情報モラルの遵守、および行動の必要性を理解できる ・ ペアワークやグループワークに参加し、協調的態度で役割を果たすことができる
------	---

内容・項目		レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
知識・理解	ビジネスに関する知識などを実務に応じて理解する力	ビジネスに関する知識を基に、実務での活用の具体的な方法を理解することができる。	ビジネスに関する知識を基に、実務でどう活用するかを理解することができる。	ビジネスに関する知識を理解できるが、実務でどう活用するかを理解することができない。	ビジネスに関する知識や必要性を理解しようとしていない。
	情報の扱い方、他者とのコミュニケーションの大切さを実務に応じて理解する力	情報の扱い方、他者とのコミュニケーションの知識を基に、実務での活用の具体的な方法を理解することができる。	情報の扱い方、他者とのコミュニケーションの知識を基に、実務でどう活用するかを理解することができる。	情報の扱い方、他者とのコミュニケーションの知識を理解できるが、実務でどう活用するかを理解することができない。	情報の扱い方、他者とのコミュニケーションの知識や必要性を理解しようとしていない。
態度・実践力	ビジネスマナーに関する知識を基に、様々なビジネスの場面に対応する力	ビジネスマナーに関する知識をビジネスの場面に応じて適切に実践し、技術を身につけることができる。	ビジネスマナーに関する知識をビジネスの場面に応じて適切に実践することができる。	ビジネスマナーに関する知識は乏しいが、実践しようとしている。	ビジネスマナーに関する知識が乏しく、実践することができない。
	ペアワークやグループワークへの取り組み	積極的に発言・発表を行い、グループをまとめることができる。	積極的に発言・発表を行うことができる。	発言・発表をある程度行うことはできるが、主体的に参加することができない。	発言・発表をほとんど行うことができない。